

## 第15 感染症対策

### 1 感染症発生状況

#### (1) 類別・市別発生状況

平成23年度

	合計	草津市	守山市	栗東市	野洲市
感染症発生合計	47	17	13	6	11
1 類感染症合計	-	-	-	-	-
エボラ出血熱・ペスト等	-	-	-	-	-
2 類感染症合計	-	-	-	-	-
急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
結核	30	14	9	3	4
ジフテリア	-	-	-	-	-
SARS	-	-	-	-	-
鳥インフルエンザ	-	-	-	-	-
3 類感染症合計	17	3	4	3	7
コレラ	-	-	-	-	-
細菌性赤痢	1	-	1	-	-
腸管出血性大腸菌感染症	19	3	4	3	7
腸チフス	-	-	-	-	-
パラチフス	-	-	-	-	-

#### (2) 発生時の対応（積極的疫学調査の実施）

平成23年度

	合計	草津市	守山市	栗東市	野洲市
感染症対応合計	47	15	14	7	11
1 類感染症合計	-	-	-	-	-
エボラ出血熱・ペスト等	-	-	-	-	-
2 類感染症合計	28	12	9	4	3
急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
結核	28	12	9	4	3
ジフテリア	-	-	-	-	-
SARS	-	-	-	-	-
鳥インフルエンザ	-	-	-	-	-
3 類感染症合計	19	3	5	3	8
コレラ	-	-	-	-	-
細菌性赤痢	2	-	1	-	1
腸管出血性大腸菌感染症	17	3	4	3	7
腸チフス	-	-	-	-	-
パラチフス	-	-	-	-	-
4 類感染症合計	1	-	1	-	-
日本脳炎	-	-	-	-	-
レジオネラ症	2	1	-	-	1
5 類感染症合計	1	-	-	-	-
麻しん	1	1	-	-	-
風しん	-	-	-	-	-

## 2 結核予防対策

### (1) 患者登録

新登録患者状況(市別)

平成23年1月1日～12月31日

単位:人

区分	新登録患者		活動性結核								(別掲)潜在性結核感染症
	患者数	り患率 (人口10万対)	総数	肺結核活動性						肺 外核活動性	
				総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
					総数	初回治療	再治療				
草津市	22	16.5	22	18	10	9	1	3	5	4	6
守山市	8	10.3	8	7	4	3	1	3	-	1	9
栗東市	7	10.8	7	4	2	2	-	-	2	3	4
野洲市	4	8.0	4	1	1	1	-	-	-	3	1
合計	41	12.6	41	30	17	15	2	6	7	11	20

新登録患者状況(市別・年齢階級別)

平成23年1月1日～12月31日

単位:人

年齢市	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
草津市	-	-	-	-	4	2	1	-	3	12	22
守山市	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	8
栗東市	-	-	-	-	-	-	1	2	-	4	7
野洲市	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4
合計	-	-	-	-	4	2	2	3	5	25	41

新登録患者状況(年齢階級別)

平成23年1月1日～12月31日

単位:人

	新登録患者		活動性結核								(別掲)潜在性結核感染症
	患者数	り患率 (人口10万対)	総数	肺結核活動性						肺 外核活動性	
				総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
					総数	初回治療	再治療				
0～4歳	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9歳	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	4	9.6	4	4	-	-	-	2	2	-	5
30～39歳	2	3.8	2	2	1	1	-	1	1	-	7
40～49歳	2	4.4	2	1	-	-	-	1	1	1	5
50～59歳	3	8.8	3	3	2	2	-	1	1	-	1
60～69歳	5	12.2	5	4	4	3	1	-	-	1	1
70歳以上	25	64.3	25	16	10	9	1	2	2	9	1
計	41	12.7	41	30	17	15	2	7	7	11	20

罹患率の推移

ア 年次推移

人口10万対

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
全国	25.8	24.8	23.3	22.2	20.6	19.8	19.4	19.0	18.2	17.7
滋賀県	22.1	20.1	19.7	17.0	15.1	15.7	17.5	15.7	14.6	17.3
管内	19.9	15.7	17.2	12.0	13.8	15.5	13.4	14.2	11.6	12.6
草津市	17.9	16.1	15.2	10.9	15.5	17.9	10.4	15.0	12.5	16.5
守山市	20.7	10.2	12.9	12.7	8.3	13.5	16.0	18.5	10.4	10.3
栗東市	17.6	17.3	23.8	14.9	9.8	11.3	15.8	9.5	7.9	10.8
野洲市	26.5	20.3	20.2	10.1	22.1	18.0	14.0	12.0	15.9	8.0

イ 管内年齢階級別

人口10万対

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
管内合計	19.9	15.7	17.2	12.0	13.8	15.5	13.4	14.2	11.6	12.6
0～4歳	5.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9歳	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	-
10～14歳	6.5	-	-	-	-	6.5	-	-	-	-
15～19歳	6.0	6.2	-	-	-	-	-	6.7	6.6	-
20～29歳	9.8	16.2	12.6	8.7	6.5	13.1	8.9	9.2	7.0	9.6
30～39歳	6.6	4.2	10.1	5.9	5.7	7.4	3.7	1.8	5.5	3.8
40～49歳	5.8	14.6	5.8	14.1	11.3	8.1	12.9	7.4	11.8	4.4
50～59歳	37.3	16.4	16.7	11.9	7.1	9.9	10.3	8.2	8.5	8.8
60～69歳	35.3	20.3	15.9	25.0	9.3	26.3	13.7	12.8	7.4	12.2
70歳以上	75.4	64.2	97.4	38.0	83.7	64.5	61.9	80.1	52.1	64.3

登録患者状況（市別）

平成23年1月1日～12月31日

単位：人

区分	登録患者		有病率	活動性結核								肺外核活動性	不活動性結核	活動性不明	(別掲)潜在性結核感染症	
	患者数	登録率		総数	肺結核活動性					登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性・その他				治療中	観察中
					総数	登録時喀痰塗抹陽性			再治療							
						計	初回治療	再治療								
草津市	45	33.8	15.0	20	16	8	7	1	3	5	4	24	1	6	7	
守山市	21	27.0	9.0	7	6	3	2	1	2	1	1	13	1	10	3	
栗東市	16	24.6	12.3	8	5	3	3	-	-	2	3	8	-	4	3	
野洲市	10	19.9	6.0	3	-	-	-	-	-	-	3	6	1	1	-	
合計	92	28.2	11.7	38	27	14	12	2	5	8	11	51	3	21	13	

登録患者状況（市別・年齢階級別）

平成23年1月1日～12月31日

単位：人

年齢市	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
草津市	-	-	-	-	7	4	7	1	7	19	45
守山市	-	-	-	-	1	1	3	2	1	13	21
栗東市	-	-	-	1	2	1	-	3	-	9	16
野洲市	-	-	-	-	1	-	1	2	2	4	10
合計	-	-	-	1	11	6	11	8	10	45	92

登録患者状況（年齢階級別）

平成23年1月1日～12月31日

単位：人

区分	登録患者		有病率	活動性結核								肺外核活動性	不活動性結核	活動性不明	(別掲)潜在性結核感染症	
	患者数	登録率		総数	肺結核活動性					登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性・その他				治療中	観察中
					総数	登録時喀痰塗抹陽性			再治療							
						計	初回治療	再治療								
0～4歳	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5～9歳	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10～14歳	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15～19歳	1	6.3	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
20～29歳	11	26.4	9.6	4	4	-	-	-	2	2	-	6	1	5	-	
30～39歳	6	11.5	1.9	1	1	-	-	-	-	1	-	5	-	8	4	
40～49歳	11	24.2	4.4	2	2	1	1	-	-	1	-	9	-	5	4	
50～59歳	8	23.4	11.7	4	3	2	2	-	-	1	1	3	1	1	2	
60～69歳	10	24.3	17.0	7	4	4	3	1	-	-	3	3	-	1	1	
70歳以上	46	118.3	51.4	20	13	7	6	1	3	3	7	24	2	1	1	
合計	93	28.9	11.8	38	27	14	12	2	5	8	11	51	4	21	13	

有病率の推移

ア 年次推移

人口10万対

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
全国	25.4	23.3	21.1	18.8	17.2	16.2	15.7	14.8	14.0	13.5
滋賀県	23.8	22.0	20.3	14.2	13.5	12.3	12.4	11.6	10.8	14.3
管内	19.2	18.4	12.8	11.0	11.1	12.9	10.2	7.9	7.5	11.8
草津市	15.3	20.4	14.3	10.9	10.6	16.2	8.8	7.9	10.9	15.0
守山市	23.6	13.1	8.6	9.9	5.5	8.1	17.3	10.5	7.8	9.0
栗東市	17.6	20.8	11.9	14.9	11.4	8.1	7.9	6.3	3.2	12.3
野洲市	26.5	18.3	16.2	8.0	20.1	18.0	6.0	6.0	4.0	6.0

イ 管内年齢階級別

人口10万対

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
管内合計	19.2	18.4	12.8	11.0	11.1	12.9	10.2	7.9	7.5	11.8
0～4歳	5.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9歳	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	6.5	-	-	-	-
15～19歳	-	6.2	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	11.8	18.3	8.4	6.5	6.5	13.1	4.4	4.6	9.4	9.6
30～39歳	8.8	4.2	6.1	5.9	5.7	5.6	1.8	1.8	3.7	1.9
40～49歳	11.7	14.6	2.9	5.6	11.3	5.4	12.9	2.5	11.8	4.4
50～59歳	30.3	30.5	2.4	7.1	9.4	7.4	7.7	2.7	2.8	11.7
60～69歳	28.4	23.6	15.9	12.5	12.4	26.3	11.0	7.7	7.4	17.0
70歳以上	79.3	64.6	64.9	31.1	51.5	49.2	47.1	48.6	24.7	51.4

## 登録除外状況

平成23年1月1日～12月31日

	観察不要	死亡		転 症	転 出	登録中の 再登録	他の理由	合 計
		結 核	その他					
草津市	11	1	2	-	1	-	-	15
守山市	12	1	2	1	-	-	-	16
栗東市	5	-	-	-	-	-	-	5
野洲市	-	2	-	-	1	-	-	3
合計	28	4	4	1	2	-	-	39

## (2) 入院勧告・公費負担

## 結核医療費公費負担状況(市別)

平成23年1月1日～12月31日

(単位:件)

	申請	合格	承 認									不承認		
			被用者保険		国民健康保険			後期 高齢者 医療	生活 保護法	そ の 他	計	労務 災害	その他	計
			本人	家族	一般	退職本人	退職家族							
草津市	26	26	8	3	5	1	-	9	-	-	26	-	-	-
守山市	14	14	2	2	2	1	-	7	-	-	14	-	-	-
栗東市	10	10	5	-	-	-	-	5	-	-	10	-	-	-
野洲市	3	3	-	-	1	-	1	1	-	-	3	-	-	-
合計	53	53	15	5	8	2	1	22	-	-	53	-	-	-

## 入院勧告(市別)

平成23年1月1日～12月31日

(単位:件)

	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢者 医療	生活 保護法	労務 災害	その他	合 計
	本人	家族	一般	退職本人	退職家族					
草津市	2	1	2	-	-	6	-	-	-	11
守山市	-	-	2	1	-	3	-	-	-	6
栗東市	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2
野洲市	-	-	-	-	-	2	1	-	-	3
合計	2	1	5	1	-	12	1	-	-	22

## 感染症法第37条の規定による医療費公費負担状況(保険別)

平成23年1月1日～12月31日

(単位:件)

	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢者 医療	生活 保護法	労務 災害	その他	合 計
	本人	家族	一般	退職本人	退職家族					
前年未現在	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
年中承認	2	1	5	1	-	12	1	-	-	22
年中解除	1	1	4	1	-	14	1	-	-	22
年末現在	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2

## 登録者の受診状況

平成22年12月31日現在

	合計	入院	外来治療	他疾患治療	治療なし	不明
草津市	45	7	11	-	25	2
守山市	21	1	5	-	14	1
栗東市	16	3	3	-	8	2
野洲市	10	-	3	-	7	-
合計	92	11	22	-	54	5

## (3) 健康診断

## 結核健康診断実施状況(精密検査)

平成23年4月1日～平成24年3月31日

単位:人

	対象者	受 診 者 数				受 診 率 (%)	受 診 結 果		
		保健所	委託医療 機関	その他	計		要医療	要観察	異常なし
草津市	40	12	-	28	40	100.0	-	28	12
守山市	29	6	-	22	28	96.6	-	15	14
栗東市	15	3	-	11	14	93.3	-	7	8
野洲市	4	-	-	4	4	100.0	-	4	-
合計	88	21	-	65	86	97.7	-	54	34

## 結核健康診断実施状況(接触者健診・家族)

平成23年4月1日～平成24年3月31日

単位:延べ人

	対象者	受 診 者 数				受 診 率 (%)	受 診 結 果		
		保健所	委託医療 機関	その他	計		要医療	要観察	異常なし
草津市	35	32	-	3	35	100.0	-	8	27
守山市	31	24	6	1	31	100.0	-	17	14
栗東市	16	15	1	-	16	100.0	-	10	6
野洲市	11	4	6	1	11	100.0	-	1	10
合計	93	75	13	5	93	100.0	-	36	57

結核健康診断実施状況（接触者健診・家族以外）

平成23年4月1日～平成24年3月31日 単位：延べ人

	対象者	受診者数				受診率 (%)	受診結果		
		保健所	委託医療 機関	その他	計		要医療	要観察	異常なし
草津市	14	11	-	2	13	92.9	-	6	7
守山市	27	27	-	-	27	100.0	1	7	19
栗東市	6	5	-	1	6	100.0	1	-	5
野洲市	17	15	-	1	16	94.1	-	2	14
合計	64	58	-	4	62	96.9	2	15	45

定期の健康診断

ア 実施状況

平成23年度

	事業者	学校長	施設長	市町長		
				幼児		その他
				6か月未満	6か月～1歳未満	
B C G接種者数				3,434	15	
間接撮影者数	2,544	11,427	1,129			55
直接撮影者数	4,144	1,192	695			19,919
喀たん検査者数	-	-	-			-
Q F T検査者数						
被発見者数	結核患者	1	-	1		-
	潜在性結核感染症	-	-	-		-
	結核発病のおそれがあると診断された者	-	-	-		-

イ 市別健康診断受診状況

平成23年度

	管内	草津市	守山市	栗東市	野洲市
人口	325,858	133,109	77,677	64,943	50,129
対象者数	51,150	17,241	13,824	9,965	10,120
受診者数	間接撮影者数	7	-	7	-
	直接撮影者数	16,391	4,533	4,321	2,726
受診率(%)	32.1	26.3	31.3	27.4	47.5
喀痰検査者数	-	-	-	-	-
Q F T検査者数					
被発見者数	結核患者	-	-	-	-
	結核発病のおそれがあると診断された者	-	-	-	-

(65才以上の受診者)

ウ 予防接種(B C G)実施状況

平成23年度

	対象者 (6か月未満)	6か月未満	6か月 ～1歳未満	接種率(%)
草津市	1,261	1,234	12	97.9
守山市	980	887	0	90.5
栗東市	932	927	2	99.5
野洲市	386	386	1	100.0
合計	3,559	3,434	15	96.5

「接種率」は、「6か月未満」のみで算出

(4) 結核予防啓発事業

- ・保健衛生情報 平成24年3月号に掲載

### 3 特定感染症対策

#### (1) エイズ予防対策

当所では、昭和62年度から毎週、H I V 抗原抗体検査を開始しました。

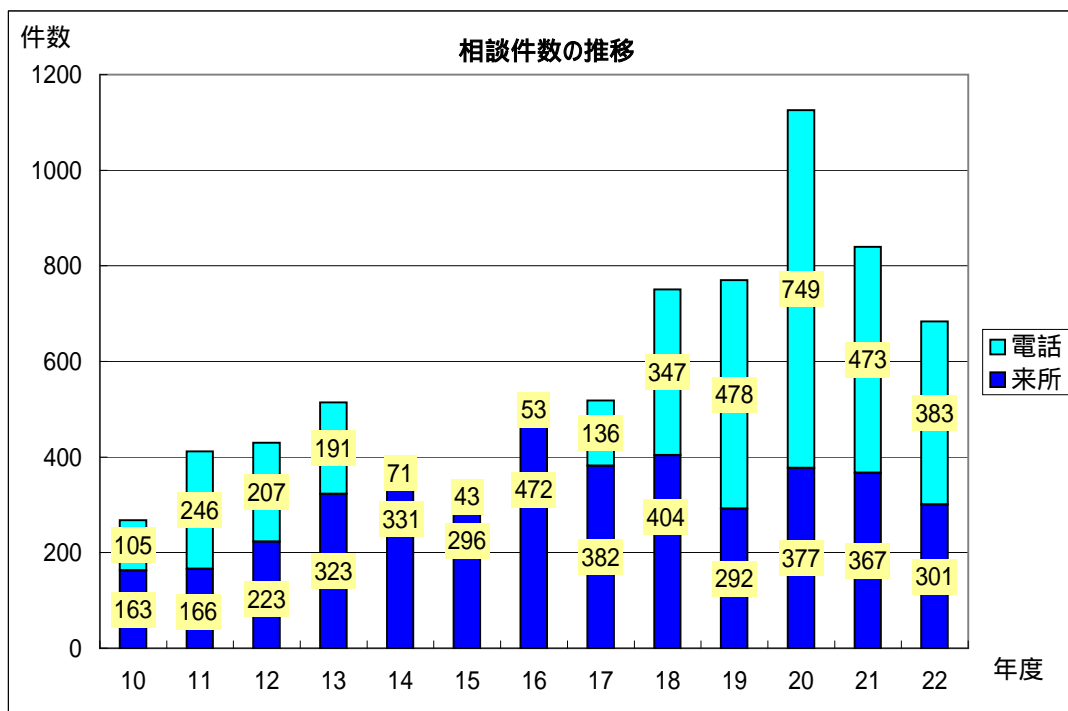
平成5年度からは、検査時にカウンセラーを配置し、相談体制の強化をはかりました。

平成18年8月からは、H I V 抗体検査、平成19年10月からは梅毒・肝炎ウイルス（B型・C型）の即日検査を導入し、毎月2回開催しています。

平成21年10月からは県下全保健所にて、即日検査が導入されています。

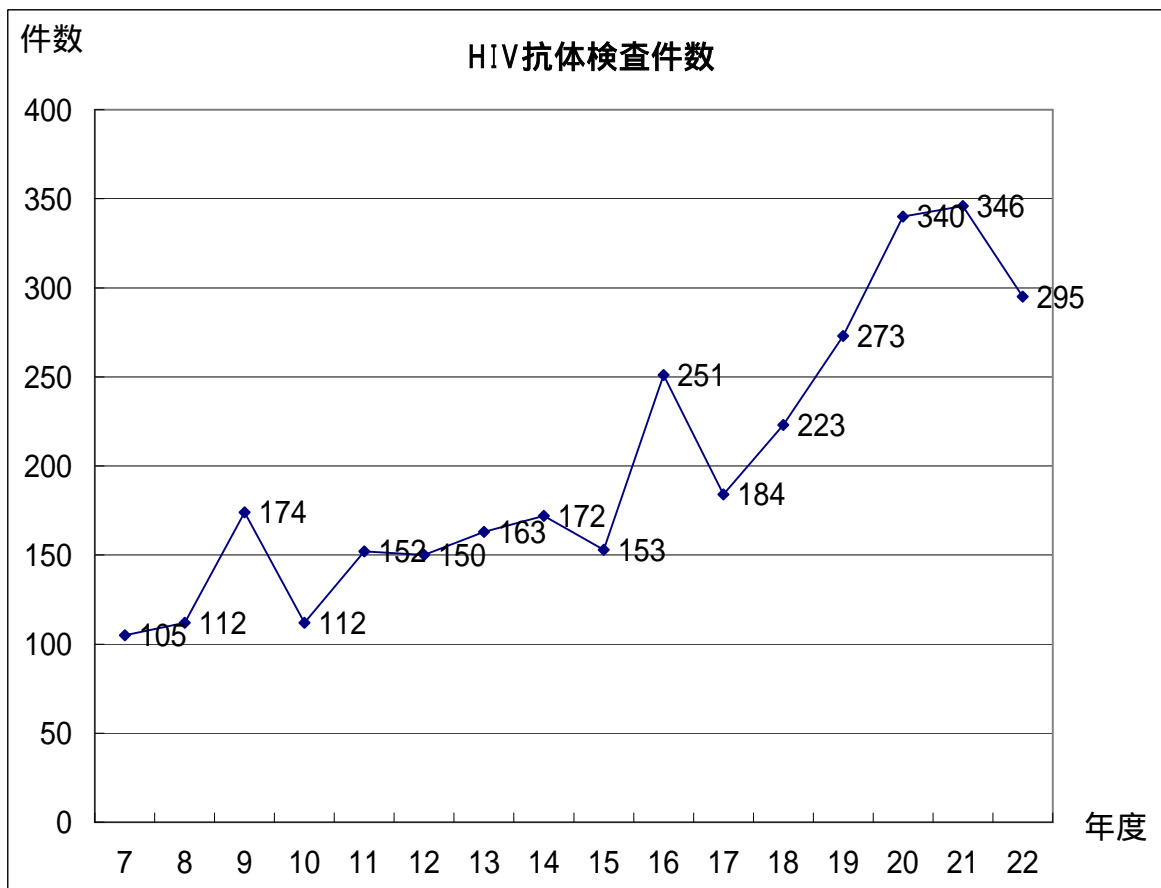
#### エイズ相談実施状況

区分	合計	検査時		来所	電話	
		検査前	検査後			
相談延人員	878	256	246	6	370	
内訳	男	555	165	157	4	229
	女	323	91	89	2	141
相談内容延件数	1,463	714	345	13	391	
相談内容延件数	状 況	163	142	4	3	14
	検 査	650	251	28	6	365
	感 染 経 路	265	237	21	1	6
	予 防 方 法	277	55	218	1	3
	患者発生状況	32	8	24	-	-
	そ の 他	76	21	50	2	3



エイズ抗体検査件数（男女別・年齢別）

年 齢	～ 1 9	2 0 ～ 2 9	3 0 ～ 3 9	4 0 ～ 4 9	5 0 ～	計
男	4	62	60	20	18	164
女	4	48	25	8	6	91
計	8	110	85	28	24	255



エイズ啓発活動

ア HIVに関するイベント

立命館大学 びわこ草津キャンパス （平成23年7月22日、12月9日）

相談・啓発コーナーを設置

リーフレット配布

イ 啓発事業

- ・ HIV検査普及週間における拡大検査 平成23年6月1日
- ・ 世界エイズデーにおける拡大検査 平成23年12月7日
- ・ 保健衛生情報 11月号 世界エイズデーの啓発

ウ 研修会等

- ・ 特定感染症相談・検査事業事例検討会
- ・ 検査・相談事例についてカンファレンスを実施

(2) 梅毒検査

梅毒検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～	計
男	4	60	61	20	17	162
女	4	48	25	7	6	90
計	8	108	86	27	23	252

(3) 肝炎ウイルス検査

HCV抗体検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～	計
男	6	62	60	20	17	165
女	4	47	25	9	9	94
計	10	109	85	29	26	259

HBs抗原検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～	計
男	6	62	60	20	17	165
女	4	48	25	9	9	95
計	10	110	85	29	26	260

4 その他

(1) 肝炎治療特別促進事業(インターフェロン・核酸アナログ製剤治療助成制度)

病名別・性別および病名別・年齢階級別

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

病名	計	男	女	～29	～39	～49	～59	～69	70～
慢性肝炎(B型)	15	12	3	-	4	4	4	3	-
慢性肝炎(C型)	33	20	13	-	3	4	12	13	1
代償性肝硬変(B型)	3	3	-	-	-	1	-	2	-
代償性肝硬変(C型)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非代償性肝硬変(B型)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	51	35	16	-	7	9	16	18	1

病名別・市別

病名	計	草津市	守山市	栗東市	野洲市
慢性肝炎(B型)	15	4	8	2	1
慢性肝炎(C型)	33	9	9	7	8
代償性肝硬変(B型)	3	-	2	1	-
代償性肝硬変(C型)	-	-	-	-	-
非代償性肝硬変(B型)	-	-	-	-	-
合計	51	13	19	10	9

(2) 血液製剤(フィブリノゲン製剤)使用公表に伴う相談

相談内容の内訳

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

患者(元患者、C型肝炎患者等(身内含む))													医療機関			総数				
医療機関がリストに掲載されているか	過去に出産や手術等をしたが大丈夫か	投与の事実の確認、カルテの開示	輸血を受けたが大丈夫か (フィブリノゲン製剤の投与無し)	肝炎検査は必要か。どこで受けられるか	肝炎検査の費用について	C型肝炎の症状は、治療方法は	肝炎の治療費、医療費助成	母子感染、家族間感染について	国の責任、補償措置(訴訟関係を含む)	フィブリノゲン製剤は何に使用されたか	感染の原因を知りたい (フィブリノゲン製剤の投与以外)	その他	原告団、弁護団を知りたい	救済手続き・認定について	合計		患者への対応の仕方について	医療機関名の公表	その他	合計
-	-	-	-	4	-	-	199	-	5	-	-	-	-	-	208	-	-	-	-	208

厚生労働省を通じ平成19年10月に血液製剤の使用に関して再公表(平成16年12月に公表されたフィブリノゲン製剤投与に関するお知らせ)された。

平成20年4月から肝炎治療特別促進事業が開始され、助成制度に関する相談件数が増加した。